

## Chapter

# 02

**STUDY PLAN-13E**  
**入学生**

01.履修申請	022
02.成績表の見方	027
03.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	029
04.演習科目/学科決定	031
05.卒業見込証明書	031
06.資格取得	032
07.カリキュラム	033

## 教育課程（カリキュラム）

### —経済学部のカリキュラム—

1年次より「学部」に所属し、「総合教育科目」と「経済学入門科目」（基礎科目と応用科目）、「専門科目1群」を学びます。自分の興味・関心や学びたいテーマを探求しつつ、2年次後期におこなわれる「演習1」（いわゆるゼミナール：少人数教育）の登録をおこなってください（履修資格がありますので注意してください）。

あなたがたが選んだ「演習1」の担当教員は、専門分野に応じて「経済学科」と「国際経済学科」とに分かれており、この「演習1」の登録（教員によって）であなたの所属学科が決定されます。

このように、入学したときから学科が決められているのではなく、入学したあとの3年次から学科を決めることとなります。

経済学部では3年次からの「演習1」、「演習2」でただ単に知識を習得するだけではなく、自分の興味・関心に沿ったゼミナールテーマを学ぶ事により、経済社会に対する豊富な教養を身に付け、現代社会に適応できる経済学の感覚を養う学習指導をおこないます。

### 【経済学科・国際経済学科の特色】

#### <経済学科について>

経済学科の専門科目のカリキュラムは、大きく分ければ、経済学の基本的考え方や基礎知識を習得するとともに、幅広い視野を養うための「経済学入門科目」（基礎科目と応用科目）と「専門科目1群」、それらをふまえたうえで、現代社会における主要な経済・社会問題を分析・考察していく経済学科に配置された「専門科目2群」、少人数で集中的な学習指導がおこなわれる「演習科目」から構成されています。

#### <国際経済学科について>

国際経済学科の専門科目のカリキュラムは、大きく分ければ、経済学の基本的考え方や基礎知識を習得するとともに、幅広い視野を養うための「経済学入門科目」（基礎科目と応用科目）と「専門科目1群」、それらをふまえたうえで、国際社会における主要な経済・社会問題を分析・考察していく国際経済学科に配置された「専門科目2群」、少人数で集中的な学習指導がおこなわれる「演習科目」から構成されています。

# 01. 履修申請

- ・「履修申請」とは、自分が受けたい授業科目を申込みことです。
- ・「履修申請」は、本年度の学習方針を決定するだけでなく、次年度以降の履修にも影響しますので、履修制限等をよく読んで、自分の時間割の計画を立てて申請してください。
- ・大学では必修科目等を除いて、一定の枠の中から受けたい科目を選択できるようになっています。
- ・申請期限までに所定の手続きを行わなかったり、間違ったりすると、授業に出席して、試験を受けても単位が認められませんので、慎重に行ってください。
- ・申請の手順については、別に配布するWeb履修申請ガイドブックをご覧ください。

## (1) 履修計画における注意点

- ①履修する科目を選ぶために、事前に「Webシラバス」をよく読んでください。
- ②各時間帯に開講されている授業科目の中から自分が受けたい科目を選び、選んだ科目を各自で履修申請してください。学生1人1人の時間割の内容は、同じ学部・学科であっても違ったものになります。
- ③同じ学部・学科でも、コースによって選択すべき科目が異なります。各コースの履修要件、卒業要件をよく読んで履修計画を立ててください。
- ④卒業資格最低単位数(卒業要件単位数)を充足できるよう重点をおいてください。
- ⑤申請する前に、学籍番号などによって指定されているクラス等を確認してください。
- ⑥各ガイダンスには必ず参加してください。
- ⑦既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

## (2) 手続方法

### ①履修計画を立てる

付付資料に基づき履修計画を立て、Web履修申請ガイドブック巻末にある「時間割下書き用紙」に記入します。また、履修したい講義がクラス登録科目である場合には、同じく巻末にある「クラス登録応募下書き用紙」に記入します。講義科目の中には、学籍番号や学年により履修が制限されているもの、履修する講義が予め指定されているもの、抽選により履修者を決定するもの、プレイメントテストの結果により履修指示が為されるもの等、さまざまなタイプがあります。これらの情報は、講義時間割の備考欄等に記載されています。

### ②登録手続き（3つの期間（順序）に分けて行う）

#### a. クラス登録科目応募

抽選により履修者を決定するタイプの科目は、履修申請に先立ち応募受付を行い、抽選処理を行います。抽選の結果、当選した場合に限り履修することができます。なお、当選した講義（クラス）は履修を取り消すことができません。詳細は、巻末の「クラス登録応募下書き用紙」をご覧ください。

#### b. 本申請

履修計画（下書きした時間割）に基づいて、コンピュータを操作し講義を登録してください。申請画面を開くと履修可能な講義が表示されています。（内容は学生ごとに異なります。）同時に、抽選により受講を許可された講義と既決履修講義が表示されています。これらの講義は、取り消すことができません。なお、期間内なら何度でも登録内容を変更することができます。登録が完了したら内容を印刷し、保管しておいてください。

#### c. 修正

登録した講義を修正（追加、削除）することができます。但し、抽選により履修が決定した講義、既決履修講義は取消できません。修正が完了したら、必ず登録内容を印刷してください。

#### 【クラス登録の要領について】

- ・講義時間割の科目名左側に「●」「○」「◎」印がある講義の履修を希望する場合は、本申請に先立ちクラス登録が必要です。
- ・クラス登録は、応募受付⇒抽選⇒発表（本申請時には、当選した科目が画面に自動表示されています。）の順で行われます。
- ・当選した講義はキャンセルすることができません。また、はずれた方は、本申請期間または修正期間に残席がある場合に限り先着順で登録できます。

### ③言語文化科目

- ・担当教員は、後日掲示でお知らせします。決定した担当教員のクラスで履修申請をしてください。
- ・TOEICクラスの受講は、事前に実施した学カテストの基準に達した学生に限ります。
- ・第1希望にもれた場合は、同一曜日・時限の別のクラスに割当てられることがあります。
- ・新入生の英語については、プレイメントテストの結果発表に従って履修申請してください。履修を希望しない場合は、予め教務課に申し出てください。

### ④身体科学科目

- ・再履修者は、再クラスでの登録となります。
- ・リハビリコースクラスは、怪我などで運動に制限がある学生が対象となります。
- ・体育研究室からの注意事項は次の通りです。

## 〈体育研究室からのお願い〉

### 受講時の注意

- ① 出欠席を厳しくとります。身体科学科目が半期科目（前期で終了または後期で終了）の場合は、半年に3回までの欠席は認めますが、4回以上欠席した学生は不合格となり単位は認定されません。
- ② 「スポーツ科学」や「運動科学」は、講義日の3/4以上の出席が必要です。
- ③ 「スポーツ科学実習」について
  - ・服装は、運動服であれば高校で使用したもので差し支えありません。
  - ・運動服には、白い布に学籍番号と氏名を書いて左腕と右尻に縫い付けてください。
  - ・体育館内のコースを受講する学生は、運動靴に赤線を入れて室内専用に使ってください。
  - ・テニスコースを受講する学生は、テニスシューズを使用してください。
  - ・ロッカー使用の場合には、各自指定番号の鍵を使用し、授業時間ごとに借り出し、授業終了後ただちに返却してください。
- ④ 本科目の受講の指示は掲示で行いますから、体育館の掲示板を見るよう心掛けてください。
- ⑤ 前・後期両方とも同じ種目を取らないようにしてください。ただし、抽選で前・後期とも同じ種目になった場合は受講してください。
- ⑥ 「ボウリング」、「ゴルフ」については、ゲーム代等別途費用がかかります。

### (3) 自由科目

他学部（自分の所属する学部以外）の専門教育科目（人間環境学部は展開科目）を、卒業までに30単位まで履修することができます。そのうち、10単位までを、専門教育科目の選択科目として卒業要件単位に算入することができます。編入生は4単位まで算入することができます。（これを「自由科目」と称します。）ただし、履修の認められない科目がありますので、下表で確認してください。

自由科目を履修したい人は、Webシラバスをよく読んで選択してください。

自由科目は、Web履修申請画面で確認できる（表示されている）科目から選択してください。

#### 経済学部

他学部	学科名	卒業要件に認められる単位	自由科目として扱わない科目
人間環境	文化コミュニケーション、生活環境、スポーツ健康	10単位 (編入生は4単位)	製図、演習、実験、実習、卒業研究 ※その他各学科の事情等により除外する科目
経営	経営、商		
デザイン工	情報システム、建築・環境デザイン		
工	機械工、交通機械工、都市創造工、電子情報通信工		

## (4) 履修制限

経済学部には以下の制限がありますので、注意してください。

### 13E学生に適用

1年間に履修できる単位数	<p>最大48単位 ただし、以下の科目は除きます。</p> <p>①演習科目:「基礎演習1」、「基礎演習2」、「演習1」、「演習2」 ②教員免許取得に係わる科目のうち、「教科に関する科目」の「日本史概論」、「外国史概論」、「東洋史概論」、「地理学概論」、「自然地理学概論」、「地誌学」、「政治学概論」、「社会学概論」、「哲学概論」、「倫理学概論」ならびに「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」※</p>
学年による科目の制限	<p>1年次:1年次配当科目を履修することができます。 2年次:1、2年次配当科目を履修することができます。 3年次:1～3年次配当科目を履修することができます。 4年次:すべての開講科目を履修することができます。</p>
総合教育科目	<p>教養教育科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「コンピュータ・リテラシ1・2」は全員履修科目のため、当該年次に必ず履修してください。</li> <li>■留学生は、「日本事情1・2」、「日本の社会と文化1・2」を必修科目とします。</li> </ul>
	<p>言語文化科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■初修外国語(独・仏・中・朝)を履修する場合は、最初に必ず「入門(基礎)1・2」を履修してください。(中上級科目の同時履修可)</li> <li>■英語については、プレイスメントテストの結果により、初年度のみ習熟度別クラスに登録されます。履修を希望しない学生は、プレイスメントテストを受けてはいけません。留学生に英語プレイスメントテストは実施しません。</li> <li>■留学生は、「日本語読解1・2」、「日本語作文1・2」、「上級日本語読解1・2」、「上級日本語作文1・2」の8単位を必修とし、母国語を履修することはできません。</li> </ul>
専門教育科目	<p>演習科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「基礎演習1」、「基礎演習2」は全員履修科目のため、当該年次に必ず履修してください。</li> <li>■「演習1」を履修するためには、2年次前期修了時点で卒業要件単位を20単位以上修得していなければなりません。(「演習1」により学科が決定しなければ、3年次配当科目を履修することはできません。)</li> <li>■「演習2」を履修するためには「演習1」の修得が条件ですが、3年次卒業の申請が認められた者は、3年次に「演習1・2」を同時に履修することができます。</li> <li>■「演習1・2」は、同一教員で履修しなければなりません。</li> </ul>
	<p>基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「ミクロ経済学入門」、「マクロ経済学入門」は履修が望ましい科目ですので、当該年次にできる限り履修してください。</li> </ul>
その他	<p>既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。</p>

※詳しい科目については教職課程履修ガイドブックを参照してください。

## 02. 成績表の見方

- ・発表される「成績表」は、当該年度の前期末または学年末までの成績です。
- ・単位左側の文字の「必」は必修科目、「選必」は選択必修科目、「選」は選択科目を表わします。
- ・成績欄右寄りの評価は「今年度の成績」、中央の評価は「昨年度までの成績」を表わします。
- ・評価・認定は、「S」「A」「B」「C」「D」「T」で判定します。

### 修得単位数欄

卒業要件単位数	卒業に必要な単位数
修得卒業要件単位数	現在修得している全ての単位のうち卒業要件としてカウントされた単位数
修得総単位数	現在修得している全ての単位数

### 進級・卒業判定欄

1年次	2年次	3年次	4年次	卒業	4留
1年	2年	3年	4年	卒業できる	卒業延期

### 来年度欄 (3年生以上)

卒見証発行	有	無
	卒業見込証明書発行可	卒業見込証明書発行不可

### 履修制限 (2年生以上)

S2	来年度「演習2」を履修することができません
----	-----------------------

※Z・・・2年次前期終了時までには修得した卒業要件単位数が20単位数未満の場合は、学科配属が決定されません。(従って、3年次からの「演習1」が履修できません。)



### 【3年次卒業制度】

経済学部の学生は、3年間で卒業することができます。ただし、3年次卒業をするには、次の要件をすべて満たし、手続きをしなければなりません。

なお、他学部からの転籍学生および編入生については、3年次卒業制度は適用されません。

#### ■卒業資格

- ①3年次修了時点で、卒業の要件に必要な単位を124単位以上修得していなければなりません。
- ②すべての修得科目の成績が、原則として70点(B)以上で、その平均点が90点以上でなければなりません。

※平均点の算出式は次のとおりです。

$$\text{平均点} = \frac{(S\text{の数} \times 97) + (A\text{の数} \times 85) + (B\text{の数} \times 75) + (C\text{の数} \times 63)}{S\text{の数} + A\text{の数} + B\text{の数} + C\text{の数}}$$

#### ■3年次卒業志願資格

- ①2年次修了時点において、卒業の要件に必要な単位を64単位以上修得していなければなりません。
- ②すべての修得科目の成績が原則として70点(B)以上で、その平均点が90点以上でなければなりません。
- ③在学中、修学態度・人格ともに優秀で、他の模範となる者とします。
- ④3年次卒業の意志および理由が明確でなければなりません。

#### ■手続き

3年次卒業を志願する場合、2年次修了時点で学部長に対し、志願意志と理由を明確にし、「演習1」および「演習2」の同時履修申請書を提出しなければなりません。

#### ■選考・志願許可

3年次卒業志願者は、「3年次卒業制度運営委員会」で選考され、学部長が教授会の議を経て志願が許可されます。

#### ■卒業判定

3年次卒業者の可否は、「3年次卒業制度運営委員会」で選考され、学部長が教授会の議を経て認定されます。

# 03. 卒業要件単位数 (外国人留学生も共通)

卒業するためには、以下の2つの条件を満たさなければなりません。

①4年間(編入生は2年間)以上在学

休学期間は在学年数に含まれません。したがって、半期でも休学すると4年(編入生は2年)で卒業することができません。

②学科で定められた卒業要件単位124単位以上(編入生は別途定める)を修得

カリキュラム上、区分ごとに卒業に必要な単位数が異なります。履修の仕方によっては単位を修得しても卒業要件単位に入らない場合がありますので、注意してください。

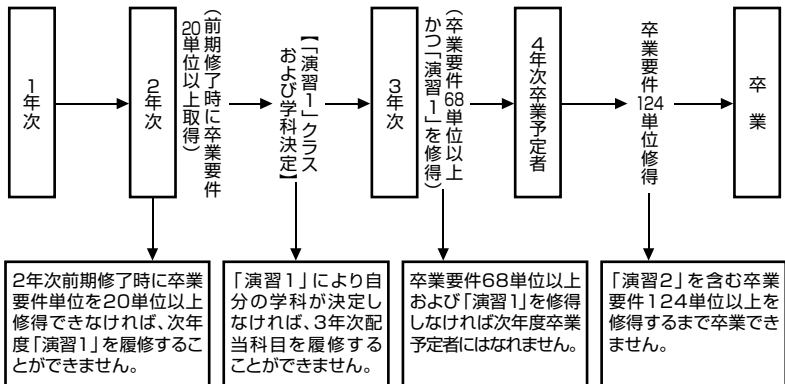
## (1) 卒業要件単位数

総合教育 科目	教養教育科目	リテラシ	8単位(留学生のみ)	24単位 以上	124単位	学士(経済学)
		人文科学				
		社会科学				
		自然科学				
		学際領域				
		日本文化				
	言語文化科目	英語	8単位以上			
		初修外国語				
		日本語				
	身体科学科目	8単位(留学生のみ)				
専門教育 科目	必修科目12単位、選択必修科目60単位、 選択科目14単位以上(自由科目10単位を含む)			86単位 以上		
4年以上在学						

## (2) 進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、年間48単位(基礎演習1、基礎演習2、演習1、演習2、教職科目等を除く。)を上限とする履修制限がありますので、計画的に修学してください。

### — 進級および卒業までの流れ —



### (3) 卒業要件単位の履修要件

#### 【総合教育科目】24単位以上

- ①必修科目 (卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。) 留学生以外の学生に必修科目はありません。留学生は、日本文化科目群4科目8単位、日本語科目群8科目8単位を必ず修得してください。
- ②選択必修科目 (特定の科目群から指定された単位を修得します。) 言語文化科目分野から、8単位を修得してください。留学生は、履修しなくてもかまいません。
- ③選択科目 (必修、選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。) ①②以外に、16単位 (留学生は8単位) 以上を修得してください。

#### 【専門教育科目】86単位以上

- ①必修科目 (卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。) 演習科目分野から、「演習1」、「演習2」の計12単位を必ず修得してください。
- ②選択必修科目 (特定の科目群から指定された単位を修得します。) 演習科目分野から、「基礎演習1」、「基礎演習2」のどちらか1科目2単位、経済学入門科目分野の基礎科目群から10単位、応用科目群から8単位、専門科目1群分野から30単位、専門科目2群分野 (経済学科あるいは国際経済学科のうち、自分の学科) から10単位、計60単位を修得してください。
- ③選択科目 (必修、選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。) ①②以外に、14単位以上を修得してください。

※総合教育科目 (24単位以上)、専門教育科目 (86単位以上) の最低要件単位は合計110単位です。卒業要件124単位に不足する14単位については、各区分の最低要件単位数を超えた単位で補ってください。

## 04. 演習科目／学科決定

演習とは、各自が興味を持ち、より深く研究したいと思う専門分野について、指導教員と共に論じ研究するための科目です。少人数で構成されるので、より詳細な研究とより親密な人間関係が形成され、大学生活の中で重要かつ有意義な科目です。

「演習1」のクラス分けは、希望を基に選考を行います。定員数を超えた場合は、演習クラスの選択理由や成績等を考慮しクラス分けを行います。なお、「演習1」の担当教員の所属する学科（経済または国際経済）が、学生の所属する学科（経済または国際経済）となり、「演習1」履修年次より3年次配当科目を履修することができます。「演習1」のクラス分けについては、2年次前期成績発表後に掲示等で案内します。

科目名	配当年次	必／選	備 考
基礎演習1	1年次	選択必修	全員履修科目です。
基礎演習2	2年次	選択必修	全員履修科目です。
演習1	3年次	必修	2年次前期修了時に卒業要件20単位以上を修得しなければ、次年度「演習1」を履修することはできません。
演習2	4年次	必修	「演習1」を修得しなければ、次年度「演習2」を履修することはできません。また、「演習2」は「演習1」と同一教員で行います。3年次卒業有資格者は、「演習1」と同時に履修しなければなりません。

## 05. 卒業見込証明書

卒業見込証明書の発行条件は、以下のとおりです。

- ①3年次修了時において、「演習1」を修得し、かつ卒業要件単位を68単位以上修得している。[4月1日以降発行]
- ②「演習2」の修得済者で、卒業要件単位を76単位以上修得している。[4月1日以降発行]
- ③4年次に履修登録した単位の修得によって卒業要件単位124単位を充足できる。[履修登録確定後5月上旬発行]
- ④3年次卒業の申請が認められた。[履修登録確定後5月上旬発行]

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機（本館1階、13号館1階）を利用してください。

## 06. 資格取得

本学を卒業、または特定の科目を修得することによって得られる資格・免許を一覧表にしましたので、履修コースの選択や履修科目の参考にしてください。また、他にも卒業後の実務経験で得られる資格（要申請）、実務経験により受験資格が得られる資格、受験科目の一部が免除される資格など多数あります。それら資格（免許）の職務内容や取得方法に関しては、教育支援センター（5号館1階）で相談してください。

### (1) 教員免許状

免許（資格）の種類	対象学部	取得の要件
高等学校教諭一種免許状 （地理歴史・公民）	経済学部	それぞれの免許に定められた教職教科専門科目と 教職専門科目を修得した者。 （詳細は教職ガイダンスで説明します。）
中学校教諭一種免許状 （社会）		

### (2) 特定科目修了による取得可能資格

資格の種類	認定の内容	対象学部	取得の要件
社会保険労務士	受験資格	全学部	卒業要件に必要とする 62単位以上修得した者

### (3) 本学実施の資格取得試験など

資格の種類	対象学部	取得の要件・その他
日本商工会議所認定 簿記検定試験2・3・4級	全学部	試験合格（年3回実施されますが、 本学では6月と11月の年2回を学内で実施します。 申込方法は、掲示板でお知らせします。）
ガス溶接技能者	全学部	ガス溶接技能講習修了

# 07. カリキュラム

## 総合教育科目（経済学科・国際経済学科共通）

（単位数を○でかこんだものは必修科目）

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考				
				1年次		2年次		3年次		4年次						
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期					
総合 教育 科目	リテラシ	コンピュータ・リテラシ1	2	24 以上	2									全員履修科目		
		コンピュータ・リテラシ2	2			2									全員履修科目	
	人文科学	文 学	2			2										
		哲 学	2			2										
		論 理 学	2			2										
		心 理 学	2			2										
		人文科学特殊講義	2			2										
	社会科学	日 本 国 憲 法	2			2										
		現 代 の 政 治	2			2										
		近 現 代 史	2			2										
		地 理 学	2			2										
		社会科学特殊講義	2			2										
	自然科学	宇 宙 科 学	2				2									
		環 境 科 学	2				2									
		生 命 科 学	2				2									
		文系のための数学	2				2									
	学際領域	文系のための統計学	2				2									
		自然科学特殊講義	2				2									
		平 和 学	2			2										
		時 事 問 題	2			2										
	日本文化	道 徳 と 現 代 倫 理	2			2										
		科 学 技 術 史	2			2										
		学際領域特殊講義	2			2										
		日 本 事 情 1	②			2										留学生向け科目
	人間教育	日 本 事 情 2	②				2									留学生向け科目
		日 本 の 社 会 と 文 化 1	②			2										留学生向け科目
人間教育	日 本 の 社 会 と 文 化 2	②			2									留学生向け科目		
	生 涯 学 習 論	2				2								教職課程科目		
	人 権 教 育	2					2							教職課程科目		



区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考												
				1年次		2年次		3年次		4年次														
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期													
総合教育科目	言語文化 初修外国語	中国語入門(基礎)1	1	(8以上) (24以上)	2																(集中)			
		中国語入門(基礎)2	1			2																		
		中国語入門(会話)1	1			2																		
		中国語入門(会話)2	1				2																	
		中国語初級1	1					2																
		中国語初級2	1						2															
		中国語総合1	1							2														
		中国語総合2	1								2													
		中国語海外研修	2						2	2														
		朝鮮語入門(基礎)1	1				2																	
		朝鮮語入門(基礎)2	1					2																
		朝鮮語入門(会話)1	1					2																
		朝鮮語入門(会話)2	1						2															
		朝鮮語初級1	1							2														
		朝鮮語初級2	1								2													
		朝鮮語総合1	1									2												
		朝鮮語総合2	1										2											
		朝鮮語海外研修	2								2	2												
	日本語	日本語読解1	①			2																留学生向け科目		
		日本語読解2	①				2															留学生向け科目		
		日本語作文1	①				2															留学生向け科目		
		日本語作文2	①					2														留学生向け科目		
		上級日本語読解1	①						2													留学生向け科目		
		上級日本語読解2	①								2											留学生向け科目		
		上級日本語作文1	①									2										留学生向け科目		
		上級日本語作文2	①										2									留学生向け科目		
身体科学科目	スポーツ科学実習1	1			2																			
	スポーツ科学実習2	1				2																		
	スポーツ科学	2						2																
	運動科学	2								2														
小 計		128		24以上	52	54	34	34	10	10	0	0												



**注) 総合教育科目の履修要件**

イ 1年次配当の英語についてはプレースメントテストを実施し、その結果に基づいて習熟度別にクラスを分ける。

ただし英語の2年次および3年次配当科目については、この限りではない

ロ 初修外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語)は複数の言語を卒業要件単位に算入することも可能とする。

ただし各言語は必ず最初に「入門(基礎)1」および「入門(基礎)2」を履修しなければならない。

ハ 留学生には「日本文化」の4科目8単位および「日本語」の8科目8単位を必修とする。

なお、留学生は、言語文化科目として母語を履修することは出来ない。

ニ 留学生には英語のプレースメントテストを実施しない。

ホ 3年次配当科目を履修することができるのは、学科配属を受けた者とする。

専門教育科目(経済学科)

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考														
				1年次		2年次		3年次		4年次																
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期															
専 門 教 育 科 目	演習科目	演 習 1	④	12																						
		演 習 2	⑥										4	4	卒業論文(集中授業)4単位を含む。 全員履修科目 全員履修科目 履修が望ましい 履修が望ましい											
		基礎 演習 1	2	2以上	2																					
		基礎 演習 2	2			2																				
	基礎科目	ミクロ経済学入門	2	10以上	必修12 選択必修60 選択14以上 合計86以上	2																				
		マクロ経済学入門	2			2																				
		コンピュータ・コミュニケーション	2				2																			
		コンピュータ・プレゼンテーション	2					2																		
		日本経済論入門	2				2																			
		経 済 史	2				2																			
		経 済 学 史	2				2																			
		経 済 政 策	2					2																		
		社 会 政 策	2					2																		
		社 会 思 想 史	2					2																		
		応用科目	株式市場と経済			2	8以上		2																	
			市場と財政			2			2																	
			経済地理			2			2																	
			世界経済論			2			2																	
			国際経済学			2				2																
			証券経済論			2				2																
アジア経済論	2					2																				
環境経済論	2					2																				
交通経済論	2			2																						



区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専 門 科 目 専 門 科 目 2 群 ( 経 済 学 科 ) 専 門 科 目 3 群 ( 国 際 経 済 学 科 )	経済学科目	企業経済論	2	10以上  (必修12・選択必修60・選択14以上 合計86以上)					2				プログラミング基礎の 合格を前提とする  プログラミング基礎の 合格を前提とする プログラミング基礎の 合格を前提とする	
		計量経済学	2						2					
		産業構造論	2							2				
		近代経済学史	2							2				
		マルクス経済学	2							2				
	福祉・社会経済学科目	社会保障論	2							2				
		産業社会と福祉	2								2			
		労働経済論	2								2			
		産業社会と家族	2								2			
	金融・財政科目	地方財政論	2								2			
		租 税 論	2									2		
		公共経済論	2								2			
		ファイナンス工学	2									2		
	マルチメディア・ビジネス科目	コンピュータ・グラフィックス	2								2			
		インターネット・ビジネス論	2								2			
		ネットワーク論	2								2			
		データベース論	2									2		
		カルチュラル・スタディーズ	2									2		
		マルチメディア・ビジネス特殊講義	2									2		
	特別科目	経済学特殊講義1	2								2			
		経済学特殊講義2	2									2		
	国際地域経済科目	東アジア経済論	2								2			
		開発経済論	2									2		
		国際協力論	2								2			
		国際地域経済特殊講義	2									2		
	国際コミュニケーション科目	比較社会論	2								2			
		民族問題	2									2		
	国際人権論	2							2					
	国際コミュニケーション特殊講義	2								2				
国際交流センター科目	コーポレート・ガバナンス論	2								2				
	デジタル・マーケティング論	2							2					
	観 光 論	2								2				
	国際ビジネス特殊講義	2								2				

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考						
				1年次		2年次		3年次		4年次								
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期							
専 門 教 育 科 目	法 律	憲 法	2	0 14  (必修12 選択必修60 選択14以上 合計86以上)	2										留 学 生 向 け 科 目  留 学 生 向 け 科 目  (集 中)  (集 中)			
		民 法	2			2												
		商 法	2				2											
		国 際 法	2					2										
		経 済 法	2				2											
		行 政 法	2					2										
	連 結 科 目	ビ ジ ネ ス 実 務	デ ザ イン 論		2				2									
			マ ー ケ ティ ン グ 論		2				2									
			ビ ジ ネ ス 実 務		2				2									
			貿 易 実 務		2			2										
			ビ ジ ネ ス 英 語 1		1			2										
			ビ ジ ネ ス 英 語 2		1				2									
			ビ ジ ネ ス 中 国 語 1		1				2									
			ビ ジ ネ ス 中 国 語 2		1					2								
			ビ ジ ネ ス 日 本 語 1		1						2							
			ビ ジ ネ ス 日 本 語 2		1							2						
			特 別 講 座		海 外 研 修 1	2			2	(2)								
					海 外 研 修 2	2			(2)	2								
					カ リ ア 開 発 基 礎	2			2									
					カ リ ア 講 座 1	2				2								
カ リ ア 講 座 2	2						2											
小 計		228	86以上	24	20	56	50	36	40	4	4							
総合教育科目、専門教育科目 合計		356	124以上	76	74	90	84	46	50	4	4							

注) 専門教育科目の履修要件

演習1を履修するためには、2年次前期修了時点において卒業の要件をみたすために必要な単位を、20単位以上修得していなければならない。

イ 履修する演習1の教員の学科所属により、経済学科および国際経済学科への学科配属を決定する。

ロ 3年次配当科目を履修することができるのは、学科配属を受けた者とする。

専門教育科目 (国際経済学科)

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考												
				1年次		2年次		3年次		4年次														
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期													
専 門 教 育 科 目	演習科目	演 習 1	④	12																				
		演 習 2	⑥										4	4	卒業論文(集中授業)4単位を含む。 全員履修科目 全員履修科目 履修が望ましい 履修が望ましい									
		基 礎 演 習 1	2	2以上	2																			
		基 礎 演 習 2	2	2			2																	
	基 礎 科 目	ミクロ経済学入門	2	10以上	必修12 選択必修60 選択14以上 合計86以上	2																		
		マクロ経済学入門	2			2																		
		コンピュータ・ドキュメンテーション	2			2																		
		コンピュータ・プレゼンテーション	2			2		2																
		日本経済論入門	2			2		2																
		経 済 史	2			2		2																
		経 済 学 史	2			2		2																
		経 済 政 策	2			2			2															
		社 会 政 策	2			2			2															
		社 会 思 想 史	2			2			2															
		応 用 科 目	株式市場と経済			2	8以上		2															
			市場と財政			2			2															
	経済地理		2			2																		
	世界経済論		2			2																		
	国際経済学		2					2																
	証券経済論		2					2																
アジア経済論	2					2																		
環境経済論	2					2																		
交通経済論	2			2																				







区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考				
				1年次		2年次		3年次		4年次						
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期					
専 門 教 育 科 目	法 律	憲 法	2	0 14  (必修12・選択必修60・選択14以上 合計86以上)	2									留 学 生 向 け 科 目 留 学 生 向 け 科 目 (集 中) (集 中)		
		民 法	2			2										
		商 法	2				2									
		国 際 法	2					2								
		経 済 法	2				2									
		行 政 法	2					2								
	関 連 科 目 ビ ジ ネ ス ・ 実 務	デ ザ イン 論	2					2								
		マ ー ケ ティ ン グ 論	2					2								
		ビ ジ ネ ス 実 務	2					2								
		貿 易 実 務	2				2									
		ビ ジ ネ ス 英 語 1	1				2									
		ビ ジ ネ ス 英 語 2	1					2								
		ビ ジ ネ ス 中 国 語 1	1					2								
		ビ ジ ネ ス 中 国 語 2	1						2							
		ビ ジ ネ ス 日 本 語 1	1							2						
		ビ ジ ネ ス 日 本 語 2	1								2					
	特 別 講 座	海 外 研 修 1	2				2	(2)								
		海 外 研 修 2	2				(2)	2								
		カ リ ア 開 発 基 礎	2				2									
		カ リ ア 講 座 1	2					2								
カ リ ア 講 座 2		2						2								
小 計		228	86以上		24	20	58	48	36	40	4	4				
総合教育科目、専門教育科目 合計		356	124以上		76	74	92	82	46	50	4	4				

注) 専門教育科目の履修要件

演習1を履修するためには、2年次前期修了時点において卒業の要件をみたすために必要な単位を、20単位以上修得していなければならない。

イ 履修する演習1の教員の学科所属により、経済学科および国際経済学科への学科配属を決定する。

ロ 3年次配当科目を履修することができるのは、学科配属を受けた者とする。

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。

## Chapter

# 02

**STUDY PLAN-11E**  
編入生

01.履修制限	046
02.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	047
03.演習科目	052
04.卒業見込証明書	052
05.カリキュラム	053

## 教育課程（カリキュラム）

### ●経済学科・国際経済学科の特色

#### <経済学科について>

経済学科の専門科目のカリキュラムは、大きく分ければ、経済学の基本的考え方や基礎知識を習得するとともに、幅広い視野を養うための「経済学入門科目」（基礎科目と応用科目）と「専門科目1群」、それらをふまえたうえで、現代社会における主要な経済・社会問題を分析・考察していく経済学科に配置された「専門科目2群」、少人数で集中的な学習指導がおこなわれる「演習科目」から構成されています。

#### <国際経済学科について>

国際経済学科の専門科目のカリキュラムは、大きく分ければ、経済学の基本的考え方や基礎知識を習得するとともに、幅広い視野を養うための「経済学入門科目」（基礎科目と応用科目）と「専門科目1群」、それらをふまえたうえで、国際社会における主要な経済・社会問題を分析・考察していく国際経済学科に配置された「専門科目2群」、少人数で集中的な学習指導がおこなわれる「演習科目」から構成されています。

# 01. 履修制限

## (1) 履修制限

11E編入生(経済学科・国際経済学科)には以下の制限がありますので、注意してください。

### 11E編入生に適用

1年間に履修できる単位数	最大48単位 ただし、以下の科目は除きます。 ①演習科目:「演習1」、「演習2」 ②教員免許取得に係わる科目のうち、「教科に関する科目」の「日本史概論」、「外国史概論」、「東洋史概論」、「地理学概論」、「自然地理学概論」、「地誌学」、「政治学概論」、「社会学概論」、「哲学概論」、「倫理学概論」、ならびに「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」※
学年による科目の制限	3年次:1〜3年次配当科目を履修することができます。 4年次:すべての開講科目を履修することができます。
科目履修上の制限	①演習1・2の履修は、同一教員でなければなりません。 ②演習1を修得していなければ、演習2を修することはできません。
必修科目	「演習1」4単位と「演習2」8単位の合計12単位を必修とします。
選択必修科目	選択必修科目は、38単位とする。 ①専門教育科目区分の経済学入門科目分野より、基礎科目、応用科目の区分にかかわらず8単位以上を修得してください。ただし、8単位を超えて修得した単位は、選択科目として、卒業要件単位に算入することができます。 ②専門教育科目区分の専門教科目1群より12単位以上を修得してください。ただし、12単位を超えて修得した単位は、選択科目として、卒業要件単位に算入することができます。 ③専門教育科目区分の専門教科目2群(所属学科)より18単位修得すること。ただし、18単位を超えて修得した単位は、選択科目として、卒業要件単位に算入することができます。
選択科目	選択科目は、12単位とする。 ①専門教育科目区分の経済学入門科目分野より8単位を超えて修得した単位、専門教育科目区分の専門教科目1群より12単位以上を修得した単位、専門教育科目区分の専門教科目2群(所属学科)より18単位修得した単および専門教育科目区分の専門教科目2群(所属していない学科)より修得した単位とあわせて、12単位を修得してください。 ②関連科目および自由科目制度により修得した単位は、4単位を上限とし、選択科目の卒業要件単位に組み入れることができます。
その他	既に単位認定を受けている科目は、再度履修できません。

※詳しい科目については教職課程履修ガイドブックを参照してください。

注)編入生は、「基礎演習1」および「基礎演習2」を履修することはできません。

## ■未開講科目

カリキュラム表にある科目でも、当該年度の時間割に載っていない科目については未開講となります。

## 02. 卒業要件単位数（外国人留学生も共通）

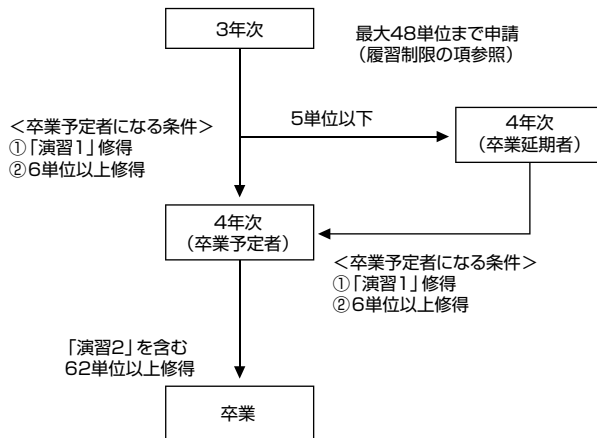
### （1）卒業要件単位数

卒業するための最低卒業要件単位数は次の通りです。

専門教育科目	必修科目	12単位	62単位	学士（経済学）	
	選択必修科目	経済学入門科目			8単位
		専門科目1群			12単位
		専門科目2群			18単位
	選択科目（関連科目および自由科目より4単位を含む。）	12単位			
2年以上在学					

### （2）進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、年間48単位（演習1、演習2、教職科目等を除く。）を上限とする履修制限がありますので、計画的に修学してください。



### (3) 専門教育科目の履修要件

#### ■必修科目【12単位】

【演習科目分野の「演習1」、「演習2」】

科目名		単位数	備考
演習科目	演習 1	4	左記2科目を修得してください。
	演習 2	8	

#### ■選択必修科目【38単位】

【経済学入門科目】 基礎科目、応用科目の区分にかかわらず8単位を修得してください。

科目名		単位数	備考	
経済学入門科目	基礎科目	ミクロ経済学入門	各 2	左記より4科目を修得してください。
		マクロ経済学入門		
		コンピュータ・ドキュメンテーション		
		コンピュータ・プレゼンテーション		
		現代日本の経済と労働		
		経済史		
		経済学史		
		経済政策		
	応用科目	社会政策		
		社会思想史		
		株式市場と経済		
		市場と財政		
		経済地理		
		世界経済論		
	国際経済学			
	証券経済論			
	アジア経済論			
	環境経済論			
	交通経済論			

【専門科目1群】 科目群の区分にかかわらず12単位を修得してください。

科目名		単位数	備考
専 門 科 目 1 群	経済学科目 ミクロ経済学 マクロ経済学 日本経済史 日本経済論 経済統計	各 2	左記より6科目を修得してください。
	福祉社会経済学科目 社会経済学 福祉経済論 生活経済論 ジェンダ－論 社会心理学		
	金融・財政科目 金融論 金融市場論 財政学 国際金融論 簿記・会計		
	マルチメディアビジネス科目 マルチメディア・ビジネス論 インターネット・ビジネス論 デジタルメディア論 ウェブ・デザイン プログラミング基礎		
	国際地域経済科目 地域経済論 国際関係論 中国経済論A 中国経済論B 東南アジア経済論		
	国際コミュニケーション科目 メディア経済論 カルチュラル・スタディーズ 社会史 異文化コミュニケーション論		
	国際ビジネス・ケース科目 グローバル・ビジネス論 ベンチャー企業論 起業家論 貿易論		
	特別科目 基盤経済学特殊講義1 基盤経済学特殊講義2 フィールドスタディ 特殊演習		

**【専門科目2群】**

経済学科の学生は科目群の区分にかかわらず18単位を修得してください。

科 目 名		単位数	備 考
専門科目2群(経済学科)	経済学科目 企業経済論 エコノメトリクス論 産業構造論 近代経済学史 マルクス経済学	各2	左記より9科目を修得してください。
	社会経済学科目 福祉・ 社会保障論 福祉ビジネス論 労働経済論 産業社会と家族		
	財政科目 金融・ 地方財政論 租税論 公共経済論 ファイナンス工学		
	マルチメディア・ ビジネス科目 コンピュータ・グラフィックス デスクトップ・パブリッシング ネットワーク論 データベース論 マルチメディア・ビジネス特殊講義		
	特別科目 経済学特殊講義 1 経済学特殊講義 2		

**■選択科目【12単位】**

- ①専門教育科目区分の経済学入門科目分野より8単位を超えて修得した単位
- ②専門教育科目区分の専門科目1群より12単位を超えて修得した単位
- ③専門教育科目区分の専門科目2群(経済学科)より18単位を超えて修得した単位
- ④専門科目2群(国際経済学科)より修得した単位

上記より修得した単位をあわせて12単位を修得してください。

また、関連科目および自由科目制度により修得した単位は、4単位を上限とし、選択科目の卒業要件単位に組み入れることができます。



## 【専門科目2群】

国際経済学科の学生は科目群の区分にかかわらず18単位を修得してください。

科 目		単位	備 考
専門科目2群(国際経済学科)	国際地域経済 科目	東 ア ジ ア 経 済 論 開 発 経 済 論 国 際 協 力 論 国 際 地 域 経 済 特 殊 講 義	各2 左記より9科目を修得してください。
	国際コミュニケーション 科目	比 較 社 会 論 民 族 問 題 国 際 人 権 論 国 際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 特 殊 講 義	
	国際ビジネス・ ベンチャー科目	コーポレート・ガバナンス論 デジタル・マーケティング論 観 光 論 国 際 ビ ジ ネ ス 特 殊 講 義	
	マルチメディア・ ビジネス科目	コンピュータ・グラフィックス デスクトップ・パブリッシング ネ ッ ト ワ ー ク 論 デ ー タ ベ ー ス 論 マルチメディア・ビジネス特殊講義	
	特別科目	経 済 学 特 殊 講 義 1 経 済 学 特 殊 講 義 2	

## ■選択科目【12単位】

- ①専門教育科目区分の経済学入門科目分野より8単位を超えて修得した単位
- ②専門教育科目区分の専門科目1群より12単位を超えて修得した単位
- ③専門教育科目区分の専門科目2群(国際経済学科)より18単位を超えて修得した単位
- ④専門科目2群(経済学科)より修得した単位

上記より修得した単位をあわせて12単位を修得してください。

また、関連科目および自由科目制度により修得した単位は、4単位を上限とし、選択科目の卒業要件単位に組み入れることができます。

## 03. 演習科目

演習とは、各自が興味を持ち、より深く研究したいと思う専門分野について、指導教員と共に論じ、研究するための科目です。少人数で構成されるので、より詳細な研究、より親密な人間関係が形成され、大学生活の中で最も重要かつ有意義な科目のひとつです。

クラス分けは希望を基にした選考を行います。定員を超えた場合は、演習クラスの選択理由や成績等を考慮した上で、担当教員がクラス分けを行います。

科目名	配当年次	必/選	備 考
演習1	3年次	必修	クラス発表は、掲示板で行います。
演習2	4年次	必修	「演習1」と同じ教員で行います。 「演習1」を習得しなければ履修できません。

## 04. 卒業見込証明書

「卒業見込証明書」の発行条件は以下のとおりです。

3年次修了時点で、「演習1」を修得済で、卒業要件単位を6単位以上修得し、4年次において履修申請した科目を修得すれば卒業できる者（4月1日以降発行）。

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機（本館1階、13号館1階）を利用してください。

# 05. カリキュラム

## 専門教育科目(経済学科)

(単位数を○でかこんだものは必修科目・一印は履修できない科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門教育科目	演習科目	演習 1	④	12					2	2			卒業論文指導(集中授業)/単位数を含む。 履修不可 履修不可	
	演習 2	⑧								4	4			
	基礎演習 1	—			—									
	基礎演習 2	—				—								
	基礎科目	ミクロ経済学入門	2	8以上 50	2									
		マクロ経済学入門	2		2									
		コンピュータ・コミュニケーション	2		2									
		コンピュータ・プレゼンテーション	2			2								
		現代日本の経済と労働	2		2									
		経済史	2		2									
		経済学史	2		2									
		経済政策	2			2								
		社会政策	2			2								
		社会思想史	2			2								
		株式市場と経済	2		2									
		市場と財政	2		2									
		経済地理	2		2									
		世界経済論	2		2									
		国際経済学	2			2								
		証券経済論	2			2								
アジア経済論	2		2											
環境経済論	2		2											
交通経済論	2		2											



区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期			
専 門 科 目 2 群 （ 経 済 学 科 ）	経済学科目	企 業 経 済 論	2	(50)					2					
		エコノメトリクス	2						2					
		産 業 構 造 論	2							2				
		近代経済学史	2							2				
		マルクス経済学	2							2				
	福祉・社会経済学科目	社会 保 障 論	2							2				
		福祉ビジネス論	2								2			
		労働経済論	2								2			
		産業社会と家族	2							2				
	金融・財政科目	地方 財 政 論	2							2				
		租 税 論	2								2			
		公 共 経 済 論	2							2				
		ファイナンス工学	2								2			
	マルチメディア・IT学科目	コンピュータ・グラフィックス	2							2				
		デスクトップ・パブリッシング	2								2			
		ネットワーク論	2							2				
		データベース論	2								2			
		マルチメディア・ビジネス特殊講義	2								2			
	特別科目	経済学特殊講義1	2							2				
		経済学特殊講義2	2								2			
	国際地域経済科目	東アジア経済論	2							2				
		開 発 経 済 論	2								2			
		国 際 協 力 論	2							2				
		国際地域経済特殊講義	2								2			
	国際コミュニケーション科目	比 較 社 会 論	2							2				
		民 族 問 題	2								2			
		国 際 人 権 論	2							2				
	国際コミュニケーション特殊講義	2							2					
国際ビジネス科目	コーポレート・ガバナンス論	2							2					
	デジタル・マーケティング論	2						2						
	観 光 論	2							2					
	国際ビジネス特殊講義	2							2					

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週時間数				備考				
				1年次		2年次			3年次		4年次	
				前期	後期	前期	後期		前期	後期	前期	後期
専 門 教 育 科 目	法 律	憲 法	2	0 4 ( 50 )	2						留 学 生 向 け 科 目 (集 中) 留 学 生 向 け 科 目 (集 中)	
		民 法	2			2						
		商 法	2			2						
		国 際 法	2				2					
		経 済 法	2			2						
		行 政 法	2				2					
	連 結 科 目	ビ ジ ネ ス 実 務	デ ザ イン 論		2			2				
			マ ー ケ ティ ン グ 論		2			2				
			ビ ジ ネ ス 実 務		2			2				
			貿 易 実 務		2		2					
			ビ ジ ネ ス 英 語 1		1		2					
			ビ ジ ネ ス 英 語 2		1			2				
			ビ ジ ネ ス 中 国 語 1		1		2					
			ビ ジ ネ ス 中 国 語 2		1			2				
			ビ ジ ネ ス 日 本 語 1		1				2			
			ビ ジ ネ ス 日 本 語 2		1					2		
	目	特 別 講 座	海 外 研 修 1		2		2	(2)				
			海 外 研 修 2		2		(2)	2				
			カ リ ア 開 発 基 礎		2		2					
			カ リ ア 講 座 1		2			2				
カ リ ア 講 座 2			2				2					
合 計			62									

注) 専門教育科目の履修要件

演習1を履修するためには、2年次前期修了時点において卒業の要件をみとすために必要な単位を、20単位以上修得していなければならない。

イ 履修する演習1の教員の学科所属により、経済学科および国際経済学科への学科配属を決定する。

ロ 3年次配当科目を履修することができるのは、学科配属を受けた者とする。

### 専門教育科目(国際経済学科)

(単位数を○でかこんだものは必修科目・一印は履修できない科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門教育科目	演習科目	演習 1	④	12					2	2			卒業論文(集中授業)4単位を必修。 履修不可 履修不可		
		演習 2	⑧							4	4				
		基礎演習 1	一		一										
		基礎演習 2	一			一									
	基礎科目	ミクロ経済学入門	2	8以上 50	2										
		マクロ経済学入門	2		2										
		コンピュータ・ドキュメンテーション	2		2										
		コンピュータ・プレゼンテーション	2			2									
		現代日本の経済と労働	2		2										
		経済史	2		2										
		経済学史	2		2										
		経済政策	2			2									
		社会政策	2			2									
		社会思想史	2			2									
		応用科目	株式市場と経済		2	2									
			市場と財政		2	2									
			経済地理		2	2									
			世界経済論		2	2									
			国際経済学		2		2								
			証券経済論		2		2								
アジア経済論	2			2											
環境経済論	2			2											
交通経済論	2		2												





区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考					
				1年次		2年次		3年次		4年次							
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目 2 群 ( 国 際 経 済 学 科 )	国際地域経済論	2	18 以上	( 50 )				2								
		開 発 経 済 論	2							2							
		国 際 協 力 論	2							2							
		国際地域経済特殊講義	2							2							
		国際コミュニケーション科目 比較社会論	2									2					
		民族問題	2									2					
		国際人権論	2									2					
		国際コミュニケーション特殊講義	2									2					
		国際コミュニケーション科目 コーポレート・ガバナンス論	2										2				
		デジタル・マーケティング論	2									2					
		観 光 論	2										2				
		国際ビジネス特殊講義	2										2				
		国際コミュニケーション科目 コンピュータ・グラフィックス	2										2				
		デスクトップ・パブリッシング	2										2				
	ネットワーク論	2								2							
	データベース論	2								2							
	国際コミュニケーション科目 マルチメディア・ビジネス特殊講義	2									2						
	特別科目 経済学特殊講義1	2								2							
	経済学特殊講義2	2								2							
	専 門 科 目 2 群 ( 経 済 学 科 )	企業経済論	2	0 ~ 12						2							
		エコノメトリクス	2							2							
		産業構造論	2								2						
		近代経済学史	2								2						
		マルクス経済学	2								2						
		福祉社会経済学科目 社会保障論	2								2						
		福祉ビジネス論	2									2					
		労働経済論	2									2					
産業社会と家族		2									2						
金融財政学科目 地方財政論		2									2						
租 税 論	2									2							
公共経済論	2									2							
ファイナンス工学	2									2							

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数								備 考					
				1年次		2年次		3年次		4年次							
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期						
専 門 教 育 科 目	法 律	憲 法	2	0 4 ( 50 )	2									留 学 生 向 け 科 目 留 学 生 向 け 科 目 ( 集 中 ) ( 集 中 )			
		民 法	2			2											
		商 法	2			2											
		国 際 法	2				2										
		経 済 法	2				2										
		行 政 法	2				2										
	関 連 科 目	ビ ジ ネ ス ・ 実 務	デ ザ イン 論		2			2									
			マ ー ケ ティ ン グ 論		2			2									
			ビ ジ ネ ス 実 務		2			2									
			貿 易 実 務		2			2									
			ビ ジ ネ ス 英 語 1		1			2									
			ビ ジ ネ ス 英 語 2		1			2									
			ビ ジ ネ ス 中 国 語 1		1			2									
			ビ ジ ネ ス 中 国 語 2		1			2									
			ビ ジ ネ ス 日 本 語 1		1				2								
			ビ ジ ネ ス 日 本 語 2		1					2							
			特 別 講 座		海 外 研 修 1	2			2	(2)							
					海 外 研 修 2	2			(2)	2							
					カ リ ア 開 発 基 礎	2			2								
					カ リ ア 講 座 1	2				2							
カ リ ア 講 座 2	2						2										
合 計			62														

注) 専門教育科目の履修要件

演習1を履修するためには、2年次前期修了時点において卒業の要件をみたすために必要な単位を、20単位以上修得していなければならない。

イ 履修する演習1の教員の学科所属により、経済学科および国際経済学科への学科配属を決定する。

ロ 3年次配当科目を履修することができるのは、学科配属を受けた者とする。

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次は1年次の、2年次は1、2年次の、3年次は1、2、3年次の、4年次は1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。